

〇5か年の取り組み総括について【平成28年度～令和2年度集計進捗状況(総括)】

資料-4

対応機関	具体的な取り組み事項	主な内容	16市町村の実施済み状況(%)			国、県等実施状況	課題	備考
			H28	R2.5月	R3.2月			
国、県、市町村	2. ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組(2)避難勧告指示の発令に着目したタイムラインの作成①避難勧告の発令に着目したタイムラインの作成	・作成に必要な水位情報等の提供 ・関東地整、市町村と協同し、策定を支援 ・タイムラインの策定を行う	19%	75%	81%	国県等支援実施中	・法改正に伴う更新、年度当初の定期的な更新、等が必要 ・専門知識不足による見直しや運用が難しい ・関係機関との調整に時間が必要で策定に時間が必要	
市町村	2. ソフト対策の主な取組 ②洪水氾濫による被害の軽減、避難時間の確保のための水防活動の取組②水防団同士の連絡体制の確保	・連絡体制の確保	31%	63%	81%	—	・デジタル簡易無線機の取扱い経験不足	
国、県、市町村	2. ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組(3)防災教育や防災知識の普及①水災害に事前準備に関する問い合わせ窓口の設置	・問い合わせ窓口を設置する	13%	75%	75%	国、県等実施済み	・担当部署への問合せが集中 ・直通番号が住民に周知されていない	
市町村	1. ハード対策の取り組み②避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備②防災行政無線の改良、防災ラジオ等の配布	・防災無線の整備・改良、防災ラジオ等の配布	25%	63%	75%	—	・ラジオ配布方法(世帯主以外への対応含む) ・難聴区域の解消、雨天時の難聴、音量設定などの運用改善 ・防災無線の改良、デジタル化の途上 ・高齢者への伝達手段	
市町村	2. ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組(1)広域避難を考慮したハザードマップの周知等④広域避難を考慮したハザードマップの作成、周知等	・作成に必要な情報の提供及び策定を支援	0%	56%	75%	国県等支援実施中	・地図アプリの導入に予算が必要 ・広域避難を考慮していない、広域避難の方法や周知方法 ・紙面の都合に必要な情報を載せきれない	
国、県、市町村	2. ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組(3)防災教育や防災知識の普及⑦水位計やライブカメラ等の情報をリアルタイムで提供	・ホームページやスマートフォンなどに水位計やライブカメラの情報をリアルタイムで提供する ・市公式サイトに川の防災情報をリンク付けし情報共有している	19%	69%	69%	国、県等実施済み	・インターネット環境を持たない市民への情報伝達方法 ・川の防災情報をHPからリンクできるように調整中 ・プル型情報を活用できる人材の育成が難しい	
国、県、市町村	2. ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組(3)防災教育や防災知識の普及⑥プッシュ型の洪水予報等の情報発信	・プッシュ型の洪水予報等の情報発信 ・情報入手方法などの周知	0%	50%	69%	国、県等実施中	・高齢者への対応(登録に手間取る、デジタル機器を持たない) ・周知不足	
国、県、市町村	2. ソフト対策の主な取組 ②洪水氾濫による被害の軽減、避難時間の確保のための水防活動の取組⑥地域の建設業者による水防支援体制の検討・構築	・地域の建設業者を組み込んだ水防支援体制の構築	31%	63%	63%	国、県等支援予定	・大規模災害に備えた協力業者の増 ・災害発生前の待機時の経費 ・資機材の保管場所確保が困難 ・対応の役割分担構築	
国・県市町村	1. ハード対策の取り組み②避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備⑥内水被害危険箇所の対策	・移動式ポンプの増設等 ・消防車両ポンプの転用	38%	50%	63%	国・県等実施中	・配備したポンプの維持管理(予算が必要) ・共同点検時の漏れている内水地区の存在	
国・県市町村	1. ハード対策の取り組み②避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備④簡易水位計や量水標、CCTVカメラ等の設置	・水位計や量水標、CCTVカメラ等の設置 ・POTEKAの設置	13%	56%	56%	国・県等実施中	・予算不足で、設置できない、複数河川で設置したいが一河川の設置に留まる ・判断や伝達の指標としての活用方法	
国、県市町村	2. ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組(1)広域避難を考慮したハザードマップの周知等③広域避難計画の策定	・作成に必要な情報の提供及び策定を支援 ・協議会の中で広域避難計画(案)を策定する	0%	31%	56%	国県等支援実施中	・必要性検討中、作成途上など計画未作成 ・組織横断的な取組が必要 ・異動による知識の散逸、把握すべき計画が多い ・他河川(鬼怒川小貝川)との整合性 ・避難先の選定 ・市内は收容可能であるが、他市からの受入れを考慮していない	
国、県、市町村	2. ソフト対策の主な取組 ②洪水氾濫による被害の軽減、避難時間の確保のための水防活動の取組⑦内水被害危険箇所の把握及び情報共有	・関係自治区との情報共有	13%	44%	44%	国、県等実施中	・道路、下水道など関連部局との危険箇所の共有が必要 ・排水ポンプの操作訓練実施 ・区長などの交代への対応、異動時の情報共有	
国・県市町村	1. ハード対策の取り組み②避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備③水防活動を支援するための新技術を活用した水防資機材等の配備	・水防活動を支援するための新技術を活用した水防資機材等の配備	6%	38%	44%	国・県等実施中	・定期的な点検、維持が必要で人と予算が必要 ・既設排水ポンプの能力不足 ・水防資機材の拡充が困難、あるいは一部にとどまる(予算が必要) ・排水施設に設置した流量計の活用方法	
市町村	2. ソフト対策の主な取組 ②洪水氾濫による被害の軽減、避難時間の確保のための水防活動の取組①水防団等への連絡体制の再確認と伝達訓練の実施	・情報伝達訓練等の実施	69%	31%	38%	—	・連絡体制の確認に留まり、訓練に至らない ・携帯型無線機等の通信訓練等が必要 ・消防車両の無線使用	
国、県、市町村	2. ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組(3)防災教育や防災知識の普及④小学生を対象とした防災教育の実施	・市町村の要請により出前講座等を積極的に行っていく ・実施について検討する	6%	19%	38%	国、県等実施中	・カリキュラムが多岐に渡り、時間調整が難しい ・要請があれば実施する運用から積極的に実施する体制にする必要がある	
国、県、市町村	2. ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組(3)防災教育や防災知識の普及②水防災に関する説明会の開催	・市町村の要請により出前講座等を積極的に行っていく ・実施について検討する	6%	6%	31%	国、県等実施中	・出前講座申請の減少(新型コロナの影響) ・震災を対象している説明会、訓練に、水災害を追加する必要がある	
国、県、市町村	2. ソフト対策の主な取組 ②洪水氾濫による被害の軽減、避難時間の確保のための水防活動の取組⑤水防活動の担い手となる水防協力団体の募集・指定を促進	・団員による声かけやコミュニティーFMでの募集 ・広報誌やホームページ等で募集していく	31%	25%	25%	国、県等支援予定	・募集が増員につながらない ・消防団員の高齢化、減少 ・消防団は募集しているが、水防協力断端の募集は未実施	
国、県、市町村	2. ソフト対策の主な取組 ②洪水氾濫による被害の軽減、避難時間の確保のための水防活動の取組④関係機関が連携した実働水防訓練の実施	・水防管理団体が行う訓練への参加 ・利根川水系連合水防演習に参加する	50%	25%	25%	国、県等実施中	・水防訓練への切り替えに対応できる団員及び署員の不足により困難 ・土砂災害や内水も考慮するほか、関係機関との綿密な連携が必要 ・地元関係機関との訓練時間確保が困難	

〇5か年の取り組み総括について【平成28年度～令和2年度集計進捗状況(総括)】

資料-4

対応機関	具体的な取り組み事項	主な内容	16市町村の実施済み状況(%)			国、県等実施状況	課題	備考
			H28	R2.5月	R3.2月			
国、県、市町村	2. ソフト対策の主な取組 ②洪水氾濫による被害の軽減、避難時間の確保のための水防活動の取組③水防団や地域住民が参加する洪水に対するリスクが高い区間の共同点検	・国が実施する重要水防箇所等の共同点検に参加 ・人員不足、多くの対象箇所があることなどから取り組み方法については、今後検討していく必要がある。	75%	6%	25%	国、県等実施中	・参加者が同じ ・地域住民の合同巡視や共同点検への参加	
国、県、市町村	2. ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組(3)防災教育や防災知識の普及 ③教員を対象とした講習会の実施	・市町村の要請により出前講座等を積極的に行っていく ・実施について検討する	6%	13%	19%	国、県等実施中	・学校側との積極的な連携が必要 ・職種や環境の違いから横断的な取組が困難 ・多忙な教員が多く参加者が少ない ・教育委員会、関係部局との調整に時間が必要	
国、県、市町村	2. ソフト対策の主な取組 ③一刻も早い生活再建及び社会経済活動の回復を可能とするための排水活動の取組(排水計画(案)の作成及び排水訓練の実施)②排水計画に基づく排水訓練の実施	・関係自治体が実施する訓練への参加	13%	19%	19%	国、県等実施中	・排水計画未作成	
国、県市町村	2. ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組(1)広域避難を考慮したハザードマップの周知等⑥要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練の促進	・作成に必要な情報の提供及び策定を支援 ・要配慮者利用施設において策定している避難計画の策定計画の中に水害も対象として位置づけ、避難訓練等を支援する	0%	13%	19%	国県等支援実施中	・避難計画に基づく実践的な訓練の実施や支援の方法 ・組織横断的な連携 ・計画策定率の向上策 ・対象施設の地域防災計画への位置付け ・避難所数が少なく、広域避難も含めた対応が必要	
国、県、市町村	2. ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組(2)避難勧告指示の発令に着目したタイムラインの作成②タイムラインに基づく首長も参加した実践的な訓練	・トップセミナーの開催 ・自治体訓練に参加 ・図上型防災訓練のモデル構築 ・実践的な訓練の実施	13%	13%	13%	国県等支援実施中	・日程確保 ・実践的、実効性のある訓練に至らない ・災害対策本部に入る部長、課長の防災意識の向上 ・職員の異動による継続的な実施内容検討が困難	
市町村	2. ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組(1)広域避難を考慮したハザードマップの周知等⑤まるごとまちごとハザードマップ整備・拡充	・洪水浸水総地図の公表後、看板の設置に向けた検討を行う	0%	13%	13%	—	・予算が不足し設置に至らない ・優先度が低い ・住民の水防防災意識が低い	
国、県、市町村	2. ソフト対策の主な取組 ③一刻も早い生活再建及び社会経済活動の回復を可能とするための排水活動の取組(排水計画(案)の作成及び排水訓練の実施)①排水機・極門・水門等の情報共有、排水手法等の検討を行い、大規模水害を想定した排水計画(案)を作成	・作成に必要な情報の提供	0%	13%	13%	国、県等実施中	・排水計画に作成に至らない(異動、情報未収集、基礎的な知識不足など) ・排水担当部局との情報共有や連携 ・委託業者も含めた体制等の検討	
国、県、市町村	2. ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組(3)防災教育や防災知識の普及⑧許可工作物管理者への防災教育の実施	・操作規則作成に必要な情報の提供及び支援 ・履行検査における周知	0%	6%	6%	国、県等実施中	・必要な専門知識の理解不足 ・マニュアル等の作成が必要 ・管理者との情報共有が未実施	
国、県、市町村	2. ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組(3)防災教育や防災知識の普及⑤出前講座等を活用した講習会の実施	・要請により出前講座等を積極的に行っていく	0%	6%	6%	国、県等実施中	—	
国、市町村	1. ハード対策の取り組み(2)避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備⑤浸水時においても災害対応を継続するための施設の整備及び自家発電装置等の耐水化	・浸水時においても災害対応を継続するための施設の整備及び自家発電装置等の耐水化	13%	6%	6%	国等実施中	・発電、蓄電設備の災害対応への適用性、必要性確認が必要 ・役所が浸水区域外のため取り組んでいない	
国、県、市町村	2. ソフト対策の主な取組 ③一刻も早い生活再建及び社会経済活動の回復を可能とするための排水活動の取組(排水計画(案)の作成及び排水訓練の実施)③内水被害危険箇所の排水計画(案)の作成	・関係自治体が発する訓練への参加	0%	0%	0%	国、県等実施中	・周辺地区との協議が必要 ・排水計画未作成	市町村においては実施中
気象庁	2. ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組(2)避難勧告指示の発令に着目したタイムラインの作成③気象情報発信時の「危険度の色分け」や「警報級の現象」等の改善(水害時の情報入手のし易さをサポート)	・警報等における危険度の色分け表示 ・「警報級の現象になる可能性」の情報提供 ・メッシュ情報の充実化	0%	0%	0%	気象庁実施中	—	市町村対象外
国	2. ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組(1)広域避難を考慮したハザードマップの周知等②想定最大規模降雨による氾濫シミュレーションの公表	・想定最大規模降雨による氾濫シミュレーションの公表	0%	0%	0%	国等実施中	—	市町村対象外
国	2. ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組(1)広域避難を考慮したハザードマップの周知等①想定最大規模降雨による浸水想定区域図の公表	・想定最大規模降雨による浸水想定区域図の公表	0%	0%	0%	国等実施中	—	市町村対象外
国	1. ハード対策の主な取り組み (1)洪水河川内で安全に流す対策 ②波浪対策	・波浪対策対象区間	0%	0%	0%	国等実施中	—	市町村対象外
国	1. ハード対策の取り組み(2)避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備①雨量・水位等の観測データ及び洪水時の状況を把握・伝達するための基盤の整備	・雨量、水位、風向風速等の観測データ及び洪水時の状況を把握・伝達するための基盤の整備	0%	0%	0%	国等実施中	—	市町村対象外
国、県	1. ハード対策の主な取り組み (1)洪水河川内で安全に流す対策 ①堤防整備	・無堤区間、堤防断面不足区間	0%	0%	0%	国、県等実施中	—	市町村対象外